

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月3日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 マキヤ
 コード番号 9890 URL <http://www.makiya-group.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川原崎 康雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 柳野 陽一
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月10日

TEL 0545-36-1000

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年3月期第3四半期 | 49,347 | — | 1,032 | — | 1,163 | — | 500 | — |
| 20年3月期第3四半期 | 51,550 | △0.0 | 1,062 | 19.7 | 1,180 | 16.0 | 601 | 159.2 |

| | 1株当たり四半期純利益 | | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 | |
|-------------|-------------|--|--------------------|--|
| | 円 銭 | | 円 銭 | |
| 21年3月期第3四半期 | 49.04 | | — | |
| 20年3月期第3四半期 | 58.37 | | — | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--|--------|--|--------|----------|
| | 百万円 | | 百万円 | | | |
| 21年3月期第3四半期 | 31,112 | | 11,851 | | 38.1 | 1,160.34 |
| 20年3月期 | 29,663 | | 11,639 | | 39.2 | 1,138.41 |

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 11,851百万円 20年3月期 11,639百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年3月期 | — | 7.50 | — | 7.50 | 15.00 |
| 21年3月期 | — | 7.50 | — | — | — |
| 21年3月期(予想) | — | — | — | 7.50 | 15.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-----|-------|-----|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 63,000 | △6.2 | 1,250 | 0.9 | 1,400 | 1.2 | 620 | 15.0 | 60.64 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 10,540,200株 20年3月期 10,540,200株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 326,342株 20年3月期 316,316株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 10,213,878株 20年3月期第3四半期 10,310,491株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる場合があります。なお、上記予想は平成20年5月13日発表の連結業績予想と変更ありません。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローンに端を発した世界的な金融市場の混乱、株価の大幅な下落、急激な円高の進行による企業収益の悪化等により、景気の後退が顕著になってまいりました。

当小売業界におきましては、景気後退局面に入り、個人消費の冷え込みが懸念され、非常に厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは7店舗の閉店をいたしました。

三重地区で展開しておりました「ハード・オフ」3店舗を、フランチャイズ契約を締結しております㈱ハードオフコーポレーションに譲渡し、また不採算店舗のスクラップ・アンド・ビルドとして、エスポット浜松有玉店、ポテト吉原店を閉店し、ポテト岩本店の移転の為の閉店等を行っております。

なお、ポテト岩本店の閉店に伴い、平成20年7月に新岩本店をオープンしており、新規出店につきましては、この1店舗となっております。

売上高につきましては、年末商戦を迎えるにあたり金融危機の影響が懸念されましたが、徹底した低価格化、お客様に支持される店作りに取り組んだことにより、当社グループの主力業態であります「エスポット」、「ポテト」とも堅調に推移いたしました。平成19年10月に㈱東海テックランドを連結除外したこと、平成20年5月にエスポット浜松有玉店を閉店したこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は493億4千7百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

利益面につきましては、個人消費が冷え込む中、依然として熾烈な価格競争が繰り広げられ、適正な粗利益を確保するのが非常に難しくなっております。より徹底した店舗オペレーションの効率化、販売費及び一般管理費の圧縮等を進めるとともに、お客様に対して高品質の商品を地域一番のロープライスでご提供できるよう努めてまいりました。

この結果、営業利益は10億3千2百万円（前年同期比2.8%減）、経常利益は11億6千3百万円（前年同期比1.5%減）、四半期純利益につきましては5億円（前年同期比16.8%減）となりました。

なお、前年同期比につきましては、参考数値として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結累計期間末の総資産は311億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比較して14億4千9百万円増加しました。

流動資産は現金及び預金の増加額10億2千2百万円、たな卸資産の増加額5億5千5百万円等により86億1千3百万円と前連結会計年度末に比較して17億3百万円増加しました。

固定資産は224億9千8百万円と前連結会計年度末に比較して2億5千4百万円減少しました。

一方、負債につきましては、支払手形及び買掛金の増加額13億円等により192億6千1百万円と前連結会計年度末に比較して12億3千6百万円増加しました。

純資産は、前連結会計年度末に比較して2億1千2百万円増加し、118億5千1百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して10億2千2百万円増加し、19億5千1百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益10億6千3百万円、減価償却費6億3千3百万円、仕入債務の増加額13億円等により、たな卸資産の増加額5億8千万円、法人税等の支払額4億5千6百万円があったものの18億9千5百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出11億9千5百万円、敷金保証金の返還による収入3億9千9百万円等により、7億6千3百万円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

短期借入金の減少額3億7千万円、長期借入金の返済による支出16億6千7百万円、長期借入金の借入れによる収入18億円、社債発行による収入2億9千3百万円等により1億5百万円の支出になりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期における業績は、順調に推移しており、平成20年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想については変更いたしません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
簡便な会計処理

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定にあたり、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|-------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,951,608 | 929,436 |
| 売掛金 | 466,409 | 323,353 |
| 商品 | 5,623,814 | 5,068,597 |
| その他 | 572,464 | 589,234 |
| 貸倒引当金 | △462 | △370 |
| 流動資産合計 | 8,613,834 | 6,910,251 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 8,462,312 | 8,826,157 |
| 土地 | 8,535,384 | 7,641,458 |
| その他(純額) | 302,768 | 320,747 |
| 有形固定資産合計 | 17,300,465 | 16,788,364 |
| 無形固定資産 | 709,716 | 706,935 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 3,266,044 | 3,634,254 |
| その他 | 1,228,661 | 1,624,462 |
| 貸倒引当金 | △5,917 | △927 |
| 投資その他の資産合計 | 4,488,789 | 5,257,789 |
| 固定資産合計 | 22,498,971 | 22,753,089 |
| 資産合計 | 31,112,806 | 29,663,341 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,643,839 | 5,343,056 |
| 短期借入金 | 4,243,669 | 4,657,915 |
| 未払法人税等 | 81,788 | 261,588 |
| 賞与引当金 | 126,907 | 137,661 |
| ポイント引当金 | 98,830 | 92,265 |
| その他 | 1,801,315 | 1,529,954 |
| 流動負債合計 | 12,996,351 | 12,022,440 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 740,000 | 500,000 |
| 長期借入金 | 4,260,927 | 4,083,717 |
| 退職給付引当金 | 667,816 | 750,449 |
| 役員退職慰労引当金 | 162,599 | 155,679 |
| その他 | 433,488 | 512,034 |
| 固定負債合計 | 6,264,831 | 6,001,881 |
| 負債合計 | 19,261,182 | 18,024,322 |

(単位:千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,198,310 | 1,198,310 |
| 資本剰余金 | 1,083,637 | 1,083,637 |
| 利益剰余金 | 9,750,378 | 9,402,732 |
| 自己株式 | △306,113 | △297,173 |
| 株主資本合計 | 11,726,212 | 11,387,506 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 125,412 | 253,347 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | △1,834 |
| 評価・換算差額等合計 | 125,412 | 251,512 |
| 純資産合計 | 11,851,624 | 11,639,018 |
| 負債純資産合計 | 31,112,806 | 29,663,341 |

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) |
|--------------|--|
| 売上高 | 49,347,392 |
| 売上原価 | 38,322,404 |
| 売上総利益 | 11,024,987 |
| 販売費及び一般管理費 | 9,992,553 |
| 営業利益 | 1,032,433 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 6,409 |
| 受取配当金 | 11,556 |
| 受取家賃 | 184,973 |
| その他 | 141,648 |
| 営業外収益合計 | 344,587 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 113,004 |
| 不動産賃貸費用 | 48,545 |
| その他 | 52,177 |
| 営業外費用合計 | 213,727 |
| 経常利益 | 1,163,293 |
| 特別損失 | |
| 減損損失 | 65,227 |
| 事故補償金 | 35,000 |
| 特別損失合計 | 100,227 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,063,065 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 276,248 |
| 法人税等調整額 | 285,921 |
| 法人税等合計 | 562,170 |
| 四半期純利益 | 500,895 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

| | |
|----------------------|------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,063,065 |
| 減価償却費 | 633,894 |
| 減損損失 | 65,227 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 5,080 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △10,754 |
| ポイント引当金の増減額 (△は減少) | 6,565 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | △82,633 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 6,920 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △7,468 |
| 受取利息及び受取配当金 | △17,966 |
| 支払利息 | 113,004 |
| 為替差損益 (△は益) | 4,225 |
| 事故補償金 | 35,000 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △143,056 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △580,334 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 1,300,783 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △77,298 |
| その他 | 125,035 |
| 小計 | 2,439,290 |
| 利息及び配当金の受取額 | 17,966 |
| 利息の支払額 | △105,511 |
| 法人税等の支払額 | △456,003 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,895,741 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,195,468 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 98,710 |
| 貸付金の回収による収入 | 8,745 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △17,823 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 399,658 |
| その他 | △57,266 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △763,444 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △370,000 |
| 長期借入れによる収入 | 1,800,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,667,036 |
| 社債の発行による収入 | 293,359 |
| 自己株式の取得による支出 | △8,940 |
| 配当金の支払額 | △153,283 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △105,900 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △4,225 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 1,022,171 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 929,436 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,951,608 |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) セグメント情報

1 事業種別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

小売事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメント資産の金額の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種別セグメント情報の記載を省略しております。

2 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

当連結グループは、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

3 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

当連結グループは、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

「参考資料」

前年同四半期にかかる財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:千円)

| 科 目 | 前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期) |
|----------------|-------------------------------|
| | 金額 |
| I 売上高 | 51,550,068 |
| II 売上原価 | 39,914,637 |
| 売上総利益 | 11,635,430 |
| III 販売費及び一般管理費 | 10,573,080 |
| 営業利益 | 1,062,350 |
| IV 営業外収益 | 363,663 |
| V 営業外費用 | 245,041 |
| 経常利益 | 1,180,971 |
| VI 特別利益 | — |
| VII 特別損失 | 45,438 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,135,533 |
| 税金費用 | 535,733 |
| 少数株主損失 | 2,077 |
| 四半期純利益 | 601,877 |